

人体構造系Ⅱ

責任者	氏名	弦本敏行	内線	7021
	教室	解剖学第二(肉眼形態学)	e-mail	tsurumot@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	18:00-19:00		

対象年次・学期	2年・前期	講義形態	実習
必修・選択	必修	単位数	人体構造系6.5単位の一部
英語名	Human Body Structure 2		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい：人体構造系は従来の「肉眼解剖学」に相当し、講義並びに実習を通して人体の諸構造を理解するための解剖学的知識を修得するとともに、解剖学以外の基礎医学、臨床医学、社会医学などを学ぶための基礎学力をも身につける。その際学ぶ解剖学用語は、一つの概念を表現するために約束された記号であり、重視されるべきである。また、解剖学実習は、剖検した構造物を自分の目で観察し正確に記載してゆくという科学的学習態度の初歩を身につける機会としても位置づけられる。併せて、解剖学実習は御遺体にメスを入れるという特殊な実習でもあるので、知的修得ばかりでなく「心の学習」の場でもあることを自覚、認識して臨まなくてはならない。

到達目標：人体の肉眼解剖学的な種々の諸構造について、適切な解剖学用語を用いて具体的に説明できる。

2. 授業内容

解剖学実習を決められた手技に則って行う。

3. 教科書、参考書等（★は教科書、必携）

書名	著者	出版社	定価(税抜)
★グレイ解剖学 (for students)	塩田浩平 他訳	エルゼビア・ジャパン	10,000 円
★グラント解剖学実習	新井良八 監訳	西村書店	4,800 円
★ネッター解剖学アトラス	相磯貞和 訳	南江堂	10,000 円
分担解剖学 1 (総説・骨学・筋学)	小川鼎三、森 於菟他	金原出版	9,300 円
分担解剖学 2 (脈管学・神経系)	平沢 興 他	金原出版	10,600 円
分担解剖学 3 (感覚器学・内臓学)	小川鼎三 他	金原出版	8,600 円

4. 成績評価の方法・基準

解剖学実習について、口答試験および筆答試験を行う。

- ・受験資格 原則として皆出席（無届欠席は失格）
- ・試験と評価 ○実習中に口答ないし筆答試験を行う
 - 本試験（7月実施）
 - 再試験（12月実施）
 再試験後、口頭試験等も併せて、総合的に評価する

※ 本試験、再試験とも無届欠席は失格とする。

5. 教員名

解剖学第二：弦本敏行、岡本圭史、分部哲秋、佐伯和信

6. 備考（解剖学実習事前学習等について）

- ・解剖学実習をプログラム通りに進行させるためには解剖内容の正確な理解が必要であり、十分なる予習を必要とする。
- 1) 配布するプリントの一般的解剖手技を十分学習し、各構造物の剖出の仕方を実践できるようにしておく。

- 2) 実習プログラムに沿って予習しておく。
 - ①解剖の大きな流れは3～4回先まで把握する。
 - ②頁ごとの手順を理解し、剖出すべき構造物について予習ノートを作成する。
 - ③実習日での事前学習は困難であるので、休日等を利用してできるだけ先へ進めておく。
- ・事前に配布される諸注意に沿って、実習に必要な物を注文・購入しておくこと。

人体構造系Ⅱ授業予定（2年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	1	金	3 4	解剖学実習 1	実習オリエンテーション (解剖学実習総論) 1-4	解剖2・ 弦本、岡本 分部、佐伯	第2
4	6	水	3 4	解剖学実習 2	解剖体安置、洗滌 背部の皮剥と皮下 5-9	解剖2・ 弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
4	7	木	3 4	解剖学実習 3	背部浅層 9-11	解剖2・ 弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
4	8	金	3 4	解剖学実習 4	背部深層 11-14	解剖2・ 弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
4	13	水	3 4	解剖学実習 5	頸部、胸部、腹部、上肢の皮剥と皮下 頸部浅層① 19-21, 23-25, 49-50, 71- 73, 169-172	解剖2・ 弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
4	14	木	3 4	解剖学実習 6	頸部浅層② 172-177 浅胸筋 25-27 側腹筋、腹直筋 73-78	解剖2・ 弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
4	15	金	3 4	解剖学実習 7	頸部深層 178-180 上肢の皮下 19-21	解剖2・ 弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
4	20	水	3 4	解剖学実習 8	肩部、上腕伸側 21-23, 33-34 腋窩 27-30	解剖2・ 弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
4	21	木	3 4	解剖学実習 9	上腕屈側、前腕屈側① 30-37	解剖2・ 弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
4	22	金	3 4	解剖学実習 10	前腕屈側②、手掌① 34-42	解剖2・ 弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
4	27	水	3 4	解剖学実習 11	手掌② 37-42	解剖2・ 弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
4	28	木	3 4	解剖学実習 12	前腕伸側と手背 43-44	解剖2・ 弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
5	6	金	3 4	解剖学実習 13	胸郭・腹腔の開放、胸膜、肺 51-57	解剖2・ 弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
5	11	水	3 4	解剖学実習 14	縦隔①、心臓外景 58-63	解剖2・ 弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
5	12	木	3 4	解剖学実習 15	縦隔②、心臓内景 63-70	解剖2・ 弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)

※授業内容の数字は『グラント解剖学実習』の該当ページ

人体構造系Ⅱ授業予定（2年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
5	13	金	3 4	解剖学実習16	腹膜、上腹部内臓、腹腔動脈 79-87	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
5	18	水	3 4	解剖学実習17	上・下腸間膜動脈、小腸、大腸① 87-91	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
5	19	木	3 4	解剖学実習18	上・下腸間膜動脈、小腸、大腸② 87-91	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
5	20	金	3 4	解剖学実習19	腸管、肝臓、胆嚢、膵臓、脾臓の摘出 91-95	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
5	25	水	3 4	解剖学実習20	後腹膜臓器、後腹壁、横隔膜 95-101	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
5	26	木	3 4	解剖学実習21	腰部離断、骨盤折半 ♂113, ♀126 骨盤・会陰・殿部の皮下、坐骨肛門窩 103-107	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
5	27	金	3 4	解剖学実習22	外生殖器と会陰 ♂107-113, ♀121-124 下肢の皮剥と皮下① 135-138	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
6	1	水	3 4	解剖学実習23	骨盤内臓 ♂113-117, ♀124-129 下肢の皮下② 135-138	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
6	2	木	3 4	解剖学実習24	骨盤の血管・神経 ♂117-121, ♀129- 133 大腿伸側、内側 138-145	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
6	3	金	3 4	解剖学実習25	殿部、大腿屈側 145-152	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
6	8	水	3 4	解剖学実習26	下腿屈側 152-156	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
6	9	木	3 4	解剖学実習27	下腿外側、伸側 156-159	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
6	10	金	3 4	解剖学実習28	足底 159-163	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
6	15	水	3 4	解剖学実習29	頭部離断・環椎後頭関節開放 (212-214) 硬膜と内頭蓋底 200-201, 203-206	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
6	16	木	3 4	解剖学実習30	咽頭・喉頭 215-218, 229-232	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)

※授業内容の数字は『グラント解剖学実習』の該当ページ

人体構造系Ⅱ授業予定（2年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
6	17	金	3 4	解剖学実習 3 1	頭部折半 216-217, 227 顔面の皮剥と皮下(浅層①) 182-187, 188-190	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
6	22	水	3 4	解剖学実習 3 2	顔面浅層② 187-188	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
6	24	金	3 4	解剖学実習 3 3	顔面深層① 190-194	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
6	29	水	3 4	解剖学実習 3 4	顔面深層② 190-194 鼻腔 218-222	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
7	1	金	3 4	解剖学実習 3 5	口蓋と口腔 222-229	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
7	6	水	3 4	解剖学実習 3 6	眼窩 206-212	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
7	8	金	3 4	解剖学実習 3 7	外耳・中耳・内耳 232-236	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
7	13	水	3 4	解剖学実習 3 8	上肢の関節 44-48	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
7	15	金	3 4	解剖学実習 3 9	下肢の関節 163-168	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
7	20	水	3 4	解剖学実習 4 0	総括、納棺、実習室清掃	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)

※授業内容の数字は『グラント解剖学実習』の該当ページ

生 体 分 子 系

責 任 者	氏 名	伊 藤 敬	内 線	7037
	教 室	生化学	e-mail	tito@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	金曜日午後1時～午後5時		

対象年次・学期	2年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名	Biochemistry (Part II)		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

生化学は生命現象を物質レベルの変化で説明しようとする学問である。すなわち生化学的知識とその思考法は生命現象の理解のみならず基礎と臨床を含めた医学全般を理解するためにも不可欠である。生体分子系の講義では、蛋白質、糖質、脂質などの生体分子(Biomolecule)の構造・機能・代謝について、生化学的な基本的事柄を学び、細胞、臓器さらには個体の機能や形態と関連させながら分子レベルで理解していくを学ぶ。これらの基礎知識の習得のみでなく、種々の疾患の病態や治療を分子レベルで理解しようとする姿勢を養うことが目標である。

2. 授業内容（講義・実習項目）

次の項目について講義を行う。

1 酵素の構造と機能 2 代謝総論 3 糖質の代謝 4 脂質の代謝 5 ヌクレオチドの代謝 6 アミノ酸の代謝 7 ポルフィリンの代謝 8 臓器に特有な生化学

3. 教科書

書 名	著 者	出 版 社	定 価
ヴォート生化学 (3版)	村松正實 監訳	東京化学同人	13,400 円
Fundamentals of Biochemistry(3rd)	Voet & Voet	John Wiley & Sons	10,710円

4. 成績評価の方法・基準

試験：前期末に授業内容について100点満点の筆答試験を行い、60点以上を合格とする。

5. 教員名

生化学：伊藤 敬

原研生化学：浦田芳重

原研生化学：後藤信治

非常勤：宮西隆幸（環境科学部）、村松正実（埼玉医科大学）

6. 備考（準備学習等）

教科書による予習復習

生体分子系授業予定（2年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	1	金	2	自習	自習		
4	6	水	2	代謝総論	細胞内小器官と代謝	生化学・伊藤	第2
4	8	金	2	細胞核の生化学	ゲノムの構造	生化学・伊藤	第2
4	13	水	2	細胞核の生化学	遺伝子転写と翻訳	生化学・伊藤	第2
4	15	金	2	細胞核の生化学	真核生物の遺伝子転写制御	生化学・伊藤	第2
4	20	水	2	細胞核の生化学	真核生物の遺伝子転写制御	生化学・伊藤	第2
4	22	金	2	代謝総論	代謝の全体像と調節	生化学・伊藤	第2
4	27	水	2	酵素の構造・機能	酵素の一般的性質、酵素の触媒機構	生化学・伊藤	第2
5	6	金	2	酵素の構造・機能	酵素と補酵素の作用機構	生化学・伊藤	第2
5	11	水	2	酵素の構造・機能	酵素反応速度論、酵素の調節機構	生化学・伊藤	第2
5	13	金	2	代謝総論	生体酸化の概念	生化学・伊藤	第2
5	18	水	2	代謝総論	ミトコンドリア呼吸鎖と酸化的リン酸化	生化学・伊藤	第2
5	20	金	2	代謝総論	アセチルCoAの異化とクレブス回路	生化学・伊藤	第2
5	25	水	2	糖質の代謝	解糖系、アセチルCoA生成	生化学・伊藤	第2
5	27	金	2	糖質の代謝	グリコーゲンの代謝	生化学・伊藤	第2
6	1	水	2	糖質の代謝	ペントースリン酸サイクル	生化学・伊藤	第2
6	3	金	2	糖質の代謝	糖新生、解糖と糖新生の相互関係	生化学・伊藤	第2
6	8	水	2	糖質の代謝	糖鎖修飾	生化学・伊藤	第2
6	10	金	2	糖質の代謝	ムコ多糖とプロテオグリカン	生化学・伊藤	第2
6	15	水	2	脂質の代謝	脂肪酸の酸化とケトン体形成	生化学・伊藤	第2
6	17	金	2	脂質の代謝	ケトン体形成とエネルギー	生化学・伊藤	第2
6	22	水	3	脂質の代謝	脂肪酸の合成	生化学・伊藤	第2
6	23	木	3	脂質の代謝	不飽和脂肪酸とエイコサノイド	生化学・伊藤	第2
			4	脂質の代謝	貯蔵脂質と膜脂質	生化学・伊藤	
6	24	金	2	脂質の代謝	ステロイドの代謝	生化学・伊藤	良順1階

生体分子系授業予定（2年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
6	29	水	2	脂質の代謝	血漿リポ蛋白質の動態	生化学・伊藤	第2
6	30	木	3	核酸の代謝	核酸の構造と種類	生化学・伊藤	第2
			4	核酸の代謝	ヌクレオチドの合成	生化学・伊藤	
7	1	金	2	核酸の代謝	ヌクレオチドの分解と再利用	生化学・伊藤	第2
7	6	水	2	アミノ酸の代謝	アミノ酸の代謝と窒素平衡	生化学・伊藤	第2
7	7	木	3	アミノ酸の代謝	尿素回路	生化学・伊藤	第2
			4	アミノ酸の代謝	アミノ酸炭素骨格の分解と合成	生化学・伊藤	
7	8	金	2	アミノ酸の代謝	アミノ酸の誘導体と生理活性物質	生化学・伊藤	良順1階
7	13	水	2	補講	補講	補講	第2
7	14	木	3	ゲノム医学	ゲノム医学概論	埼玉医大・村松	第2
			4	補講	補講	補講	
7	15	金	2	臓器の生化学	血液凝固と線溶系の生化学	原研生化・後藤	第2
7	20	水	2	臓器の生化学	骨格筋と平滑筋の生化学	環境科学・宮西	第2
7	21	木	3	臓器の生化学	心筋細胞の生化学	環境科学・宮西	第2
			4	細胞膜の生化学	生体膜の構造と情報伝達機構	原研生化・浦田	

分子遺伝系

責任者	氏名	吉浦 孝一郎	内線	7118
	教室	原研遺伝 (人類遺伝学)	e-mail	kyoshi@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	火曜日～金曜日：13時～17時		

対象年次・学期	2年・前期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	2
英語名	Molecular Genetics		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

基礎医学分野のみならず臨床医学分野を学ぶ上で重要である分子遺伝学の基礎知識を講義する。遺伝学、特に、ヒトの遺伝・多様性について基本的な暗記事項から幅広い応用力を養成し、思考力を養うことができるようになることを目的とする。本講で身につけた応用力・思考力によって、遺伝医療のみならず全ての分野を含めて、将来の医療人としての重要かつ基本的な応用力・思考力を身につけることができる。

2. 授業内容 (講義・実習項目)

分子遺伝学の前提となるヒトの遺伝現象の理解から始め、DNA・染色体・ゲノム構造と機能、疾患発症に関わる分子病理、遺伝子治療、遺伝子解析に関する生命倫理まで講義する。遺伝学とはもともと親から子に伝わる現象と多様性を解析する学問だが、現在ではDNAからその現象の説明を付けようとする学問領域となってきた。本講義を通して、メンデル遺伝のマクロの見方から、分子遺伝のミクロの見方までを身につけ、単一遺伝子病から多因子病まで将来の臨床の場に役に立てられるような幅広い知識と応用力を習得して欲しい。

3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版社	定価
遺伝医学への招待 第4版	新川詔夫・阿部京子	南江堂	1,890 円
ヒトの分子遺伝学 第3版	村松正實 監修	メディカルサイエンス・インターナショナル	11,550 円
ハートウェル遺伝学第1版	菊池昭彦 監訳	メディカルサイエンス・インターナショナル	10,500 円

4. 成績評価の方法・基準

- 5分間試験：各教官が毎講義項目に行う5分間試験 (各1点、総計30点)
 - 期末試験：授業内容にそった筆答試験 (70点)
- 以上の総計60点以上を合格とする。

5. 教員名

大学院医歯薬学総合研究科
 人類遺伝学 吉浦孝一郎 (教授), 木下晃 (助教)
 分子設計学 永山雄二 (教授)
 新興感染症病態制御学 松山俊文 (教授)
 精神神経科学 黒滝直弘 (講師)
 薬物治療学 塚元和弘 (教授), 近藤新二 (准教授)
 産婦人科学 山崎健太郎 (助教)
 非常勤講師 松本直通 横浜市立大学大学院環境分子医科学 (教授)
 " 平山謙二 熱帯医学研究所 (教授)
 " 近藤達郎 みさかえの園むつみの家 (医師)
 " 松本 正 みさかえの園むつみの家 (医師)
 " 木住野達也 先端生命科学支援センター (准教授)
 " 原田直樹 三菱化学メディエンス株式会社 長崎ラボラトリー (所長)

6. 備考 (準備学習等)

上記教科書による予習。期末試験の再試験は行なわないので注意。体調不良等の突発的な事情による試験欠席については、追試験を考慮する。

分子遺伝系授業予定（2年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	7	木	1	遺伝医学総論I	遺伝医学の特性・医学における遺伝学の役割	原遺・吉浦	第2
			2	遺伝医学総論II	細胞生物学総論	原遺・吉浦	
4	14	木	1	メンデル遺伝学I	ヒトの形式遺伝と特性	原遺・吉浦	第2
			2	メンデル遺伝学II	ヒトの形式遺伝と特性	原遺・吉浦	
4	21	木	1	細胞遺伝学I	染色体の構造と解析法	非常勤・原田	第2
			2	細胞遺伝学II	臨床細胞遺伝学・染色体異常症	非常勤・原田	
4	28	木	1	遺伝子の構造I	核酸の生化学	原遺・吉浦	第2
			2	遺伝子の構造II	核酸の複製機構と遺伝子の構造	原遺・木下	
5	12	木	1	遺伝子の構造III	転写・翻訳の機構	薬物治療学・近藤（新）	第2
			2	遺伝子の構造IV	ヒト遺伝子の発現と制御	薬物治療学・近藤（新）	
5	19	木	1	ミトコンドリア遺伝学	ミトコンドリアDNAと遺伝病	原遺・木下	第2
			2	ヒトゲノム医学I	疾患遺伝座マッピング	原遺・吉浦	
5	26	木	1	遺伝子検査I	遺伝子検査法と分子病理I	精神科・黒滝	第2
			2	遺伝子検査II	遺伝子検査法と分子病理II	精神科・黒滝	
6	2	木	1	エピジェネティクスI	エピジェネティクス機構	先端生科セ・木住野	第2
			2	エピジェネティクスII	エピジェネティクスと疾患	先端生科セ・木住野	
6	9	木	1	ヒトゲノム医学II	最先端基礎ゲノム医学I	非常勤・松本（直）	第2
			2	ヒトゲノム医学III	最先端基礎ゲノム医学II	非常勤・松本（直）	
6	16	木	1	多因子遺伝I	遺伝子多型、遺伝的浮動、多因子遺伝	原遺・吉浦	第2
			2	多因子遺伝II	多因子疾患と関連解析	原遺・吉浦	
6	23	木	1	臨床遺伝学I	遺伝性疾患の臨床I	非常勤・近藤（達）	第2
			2	臨床遺伝学II	遺伝性疾患の臨床II	非常勤・近藤（達）	
6	30	木	1	テーラーメイド医療	生活習慣病の分子遺伝学	薬物治療学・塚元	第2
			2	テーラーメイド医療	薬理遺伝学	薬物治療学・塚元	
7	7	木	1	分子病理学I	発現クローニング	感染防御・松山	第2
			2	分子病理学II	遺伝子改変動物の疾患解析への応用	感染防御・松山	
7	14	木	1	免疫遺伝学	免疫関連遺伝子と遺伝学	非常勤・平山	第2
			2	遺伝子治療	遺伝子治療の原理と応用	分子設計・永山	
7	21	木	1	出生前診断	遺伝性疾患と出生前診断	産婦人科・山崎	第2
			2	遺伝子解析と生命倫理	遺伝子解析・検査に関わる生命倫理	非常勤・松本（正）	

内臓機能・体液系

責任者	氏名	蒔田 直昌	内線	7031
	教室	生理学第一（内臓機能生理学）	e-mail	makitan@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	講義曜日の17:00～		

対象年次・学期	2年・通年	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	3.5
英語名	Physiology of Visceral Function and Body Fluid		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

正常の生命現象を主として機能的な側面から探求することによって、「命がどうできているか」という医学の基礎知識を学ぶ。臨床の場においても、生体の生理現象や病的状態を個体・臓器・細胞・遺伝子という異なるレベルで観察・考察し、知識を臨床に応用させることの重要性を体験する。

- 1) 個々の内臓機能を学ぶ臓器の生理学を基礎に、恒常性維持のための統合的調節機構の観点から生体機能を理解できるよう講義を行う。
- 2) 実習では循環、呼吸、血糖調節機能の実習を体験することにより基本的な知識の応用力と臨床生理学的知識の獲得をはかる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

講義項目

- 1) 自律神経系
- 2) 呼吸
- 3) 血液・体液
- 4) 酸塩基平衡異常
- 5) 心臓
- 6) 血管
- 7) 腎臓・排泄
- 8) 内分泌・代謝
- 9) 体温の調節
- 10) 消化吸収
- 11) 特別講義

実習項目

- 1) 心電図、肺機能
- 2) 心音、血圧、心エコー
- 3) 循環反射、消化器
- 4) 血糖調節

3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版社	定価
教科書			
標準生理学	小澤滯司 他	医学書院	12,000円
ギャノン生理学	岡田泰伸 他	丸善	10,000円
新生理学	小幡邦彦 他	文光堂	5,500円
参考図書			
人体の正常構造と機能 コンスタンツ明解生理学	坂井建雄、河原克雅 岡田 忠他	日本医事新報社 エルゼビアジャパン	6,000円

4. 成績評価の方法・基準

実習は全て履修する。レポート（ワープロ不可、手書きで）と前後期2回の筆答試験で評価する。

5. 教員名

講義担当

第一生理：蒔田直昌、松本逸郎、嶋田敏生
原研細胞：山下俊一
原研分子：永山雄二

国際ヒバクシャ医療センター：大津留晶

非常勤：井上靖久（活水女子大学）、倉智嘉久（大阪大学）、望月直樹（国立循環器病センター）、坪内博仁（鹿児島大学）

実習担当

蒔田直昌、松本逸郎、嶋田敏生

6. 備考（準備学習等）

講義は指定した教科書と参考図書の図を中心に口頭（パワーポイント）で説明を交えて行う。

内臓機能・体液系授業予定（2年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	6	水	1	細胞生理	細胞生理学	生理1・蒔田	第2
4	13	水	1	自律	自律機能と恒常性, 交感神経系と副交感神経 (化学伝達と受容器)	生理1・松本	第2
4	20	水	1	自律	自律神経求心性神経と内臓-内臓反射	生理1・松本	第2
4	27	水	1	呼吸	肺の構造、呼吸運動、肺気量	生理1・松本	第2
5	11	水	1	呼吸	肺コンプライアンス、気道抵抗、閉塞性と拘束性疾患	生理1・松本	第2
5	18	水	1	呼吸	ガス交換(酸素の運搬)、ヘモグロビンと酸素飽和度	生理1・松本	第2
5	25	水	1	呼吸	ガス交換(炭酸ガスの運搬)、換気血流比	生理1・松本	第2
6	1	水	1	呼吸	肺循環(肺血流、肺血管抵抗、肺内圧)	生理1・松本	第2
6	8	水	1	呼吸	呼吸調節、呼吸中枢	生理1・松本	第2
6	15	水	1	血液と体液	骨髄幹細胞、赤血球の機能、ヘモグロビン	生理1・嶋田	第2
6	22	水	1	血液と体液	白血球・リンパ球と生体防御	生理1・嶋田	第2
6	29	水	1	血液と体液	血小板、血液凝固、線溶、補体系	生理1・嶋田	第2
7	6	水	1	血液と体液	血漿成分の機能	生理1・嶋田	第2
7	13	水	1	血液と体液	細胞外液と細胞内液	生理1・嶋田	第2
7	20	水	1	酸・塩基平衡	血液ガス、pH、呼吸性と代謝性酸・塩基平衡異常	生理1・嶋田	第2

内臓機能・体液系授業予定（2年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
10	5	水	1	心臓	心臓の構造・心筋の構造・イオンチャンネル	生理1・蒔田	第1
10	6	木	1	心臓	心臓の自動性・膜電位・活動電位	生理1・蒔田	第1
10	12	水	1	心臓	心血管系の形態と機能	生理1・井上	第1
10	13	木	1	心臓	心筋の興奮伝導と収縮の連関	生理1・蒔田	第1
10	19	水	1	心臓	ポンプとしての心臓	生理1・蒔田	第1
10	20	木	1	心臓	心電図	生理1・蒔田	第1
10	26	水	1	特別講義	心臓機能の神経性調節	生理1・倉智	第1
10	27	木	1	血管	血管の機能・構造	生理1・蒔田	第1
11	2	水	1	血管	静脈系、リンパ系、微小循環	生理1・蒔田	第1
11	9	水	1	血管	局所循環（冠、脳、肝）	生理1・蒔田	第1
11	10	木	1	血管	心臓中枢、血管中枢、循環反射	生理1・蒔田	第1
11	16	水	1	腎・排泄	腎臓の構造と機能	生理1・松本	第1
11	17	木	1	腎・排泄	糸球体、傍糸球体装置	生理1・松本	第1
11	24	木	1	腎・排泄	尿細管の機能、再吸収、尿の濃縮	生理1・松本	第1
11	30	水	1	内分泌・代謝1	内分泌・代謝総論	山下	第1
12	1	木	1	内分泌・代謝2	視床下部－下垂体－甲状腺	永山	第1
12	7	水	1	腎・排泄	クリアランスとGFRおよびRPF	生理1・松本	第1
12	8	木	1	内分泌・代謝3	心血管内分泌	山下	第1
12	14	水	1	内分泌・代謝4	視床下部－下垂体－GH・PRL、下垂体後葉、副甲状腺	永山	第1
12	15	木	1	腎・排泄	電解質の再吸収と分泌	生理1・松本	第1
12	21	水	1	循環	特別講義	生理1 非常勤講師 望月	第1
12	22	木	1	腎・排泄	血圧の調節、中枢神経系による調節（ホルモンと自律神経系）	生理1・松本	第1
1	4	水	1	内分泌・代謝5	視床下部－下垂体－副腎	永山	第1

内臓機能・体液系授業予定（2年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
1	5	木	1	代謝・体温	体温とは、体温調節（中枢のはたか	生理1・嶋田	第1
1	11	水	1	実習の説明	実習の説明	生理1・嶋田	第1
			3	実習		生理1 蒔田・松本・嶋田	第1実習室
			4				
1	12	木	1	内分泌・代謝6	視床下部一下垂体 - 性腺	永山	第1
1	18	水	1	代謝・体温	高体温（発熱とうつ熱）、低体温、熱中症	生理1・嶋田	第1
			3	実習		生理1 蒔田・松本・嶋田	第1実習室
			4				
1	19	木	1	内分泌・代謝7	物質代謝・同化と異化	永山	第1
1	25	水	1	内分泌・代謝8	ヒトの一生とホルモン変化	山下	第1
			3	実習		生理1 蒔田・松本・嶋田	第1実習室
			4				
1	26	木	1	消化器1	消化器生理学総論・消化と吸収	大津留	第1
2	1	水	1	消化器2	肝再生とHGF（特別講義）	坪内（非常勤）	第1
			3	実習		生理1 蒔田・松本・嶋田	第1実習室
			4				
2	2	木	1	消化器3	胃・腸	大津留	第1
2	8	水	1	消化器4	肝・胆・膵	大津留	第1
			3	実習		生理1 蒔田・松本・嶋田	第1実習室
			4				

医 と 社 会

責任者	氏名	中園 一郎	内線	7074
	教室	法医学（法医学生体分子解析学）	e-mail	nakasono@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16時30分～17時30分		

対象年次・学期	2年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	医と社会7.5単位の一部
英語名	Medicine and Society		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

病める人と良好なコミュニケーションが行え、病気を診るだけでなく病める人の心とおかれている環境を洞察しうる医師となる。

病気を治療するだけでなく医療チームや家族と力を合わせ、患者の家庭や社会への復帰と社会の偏見を克服して患者の社会参加を真摯にめざす医師となる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

A 医療と人間

人の心の発達、性と生、高齢期を生きる、医療人と患者及び家庭との関係の4区分で講義を行い、問題意識を深める課題を各講義で提示する。学生は課題を選び、計2つのレポートを提出する。スモールグループで1課題を調べ、セミナーで発表する。

1) 人の心の発達

乳幼児と親の心、乳幼児期と思春期、子供と社会、学童期と思春期の心の発達

2) 性と生

人間の性、リプロダクティブヘルス&ライツ、QOLとしての性、ドメスティックバイオレンス

3) 高齢期を生きる

高齢期の特徴、高齢期介護の実際、地域における高齢者の生活を考える、痴呆性高齢者を家族と地域で支える

4) 医療人と患者及び家族との関係

自助グループ活動と医療人の役割、看護の心、ホスピス、私の考える理想の医師像

3. 教科書、参考書等

各区分の最初の時間に紹介する。

4. 成績評価の方法・基準

4つの各区分のうち課題を選んでレポートを2つ提出する。発表会のテーマの1つを担当する。再履修のため受講できない学生については別途面談の上決めていきたい。

レポート、発表会、出欠状況などを総合して評価する。

5. 教員名

委員：中園一郎、中富克己、保健学科教務委員

A1：川原ゆかり（長崎短期大学保育学科准教授）、小柳憲司（長崎県立こども医療福祉センター診療部長）、福田雅文（みさかえの園むつみの家施設長）、西村喜文（西九州大学社会福祉学科教授）

A2：安日泰子（やすひウィメンズヘルスクリニック院長）、中村まり子（在宅助産師）、中田慶子（DV防止ながさき）

A3：陣野紀代美（長崎市医師会保健福祉センター）、菅崎弘之（すがさきクリニック院長）、石松隆和（工学部）

A4：田崎真也（長崎県こども・女性・障害者支援センター）、中尾勘一郎（ホーム・ホスピス 中尾クリニック院長）、山口 明（元壱岐警察署）、山口弘美（長崎県精神障害者団体連合会）
中川賀雅、西田健一郎（ダルク）

6. 備考（準備学習等）

「課題の発表会およびレポートの作成にあたり、各グループは、担当区分の教員に連絡をとり許可を得たうえで体験学習を行なうこと。また、発表会の3日前に、準備した発表スライドを医育支援センターに持参し、発表会用のプリント（ハンドアウト）を用意すること。」

医と社会授業予定(2年後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
10	5	水	3	性と生1	オリエンテーション 人間の性、概論	医育センター・中富 非常勤・安日	第2
			4	性と生2	QOLとしての性	非常勤・中村	
10	12	水	3	人の心の発達1	乳児と親の心	非常勤・福田	第2
			4	人と心の発達2	乳幼児期と思春期	非常勤・西村	
10	19	水	3	医療人と患者及び家族との関係1	自助グループ活動と医療人の役割、体験談その1	非常勤・田崎 非常勤・中川・西田	第2
			4	性と生3	ドメスティックバイオレンス	非常勤・中田	
10	26	水	3	高齢期を生きる1	地域における高齢者の生活を考える	工学部・石松	第2
			4	高齢期を生きる2	高齢者介護の実際	非常勤・陣野	
11	2	水	3	人の心の発達3	子供と社会 児童虐待の現状から	非常勤・川原	第2
			4	人の心の発達4	子供の心の発達、学童期、思春期	非常勤・小柳	
11	9	水	3	医療人と患者及び家族との関係2	私の考える理想の医師像 体験談その2	非常勤・山口(明) 山口(弘)	第2
			4	医療人と患者及び家族との関係3	ターミナルケア 患者とのコミュニケーション	非常勤・中尾	
11	11	金	1	創立記念講演会			
			2				
11	16	水	3	高齢期を生きる3	認知症高齢者を家族と地域で支える	非常勤・菅崎	第2
			4	セミナー準備		医育センター・中富 保健学科・教務委員	
11	30	水	3	セミナー準備		医育センター・中富 保健学科・教務委員	第2
			4				
12	7	水	3	セミナー1	生と性	医育センター・中富 保健学科・教務委員	第2
			4	セミナー2	人の心の発達	医育センター・中富 保健学科・教務委員	
12	14	水	3	セミナー3	高齢期を生きる	医育センター・中富 保健学科・教務委員	第2
			4	セミナー4	人の心の発達	医育センター・中富 保健学科・教務委員	
12	21	水	3	セミナー5	医療人と患者及び家族との関係	医育センター・中富 保健学科・教務委員	第2
			4	セミナー6	高齢期を生きる	医育センター・中富 保健学科・教務委員	
1	4	水	3	レポート作成		医育センター・中富 保健学科・教務委員	第2
			4				

神 経 ・ 感 覚 器 系

責 任 者	氏 名	森 望	内 線	7017
	教 室	神経形態学 (解剖学第一)	e-mail	morinosm@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	火曜日の16:00-18:00		

対象年次・学期	2年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2
英語名	Structural principles of human brain and the nervous system		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

神経解剖学の教育目標は、ヒトの脳神経系の形態的な成り立ちとその由来を学び、高度に発達したヒトの脳神経系の構造基盤を理解することにある。この学問はもともと肉眼解剖学の延長線上にあったが、前世紀初頭における神経組織学の発達とニューロン説の確立を経て、脳神経ニューロネットワークの学問として発展してきた。最近では分子神経生物学やシステムバイオロジーの発達とともに、現代神経科学の構造基盤を形作る学問として重要な位置を占める。ここでは、臨床現場での各種脳神経疾患への対処に通ずる基礎学問として、脳神経系および感覚器系の構造と解剖学用語を学ぶ。肉眼レベルでの脳解剖実習に臨み、また微細構造レベルでの神経解剖や神経ネットワーク再編等の現代神経科学の構造的な要素も学習する。また、近年急速に発達しつつある生体脳のイメージングについても学習する。脳神経系と感覚器系の構造的成り立ちを総合的に理解することを到達目標とする。

2. 授業内容（講義・実習項目）

授業は、講義と実習により構成。講義は教科書に準じつつプリントを併用。脳神経系全体の総論と各論、感覚器の構造基盤について学ぶ。今日の分子脳科学の発展、脳画像の見方、脳内分子イメージングの方法論等についても学習する。基本的には構造の理解を主とするが、それぞれの部位の機能の成立の構造基盤を神経回路のつながりとして理解することが重要。無論、神経解剖学用語（日英）の適切な理解も大切。実習では、ヒトの脳の実物を精細に観察し、肉眼解剖により大まかな脳領域の構成を理解する。

3. 教科書、参考書等 (★ は教科書、必携)

書 名	著 者	出版社	定 価
★解剖学アトラスⅢ神経系と感覚器 (第5版)	W.Kahle (著)、長嶋、岩堀 (訳)	文光堂	4,800円
神経解剖カラーテキスト (第2版)	A.R. Crossman, C. Neary (著) 野村、水野 (訳)	医学書院	5,600円
人体の正常構造と機能 (神経系1、2)	河田、稲瀬他	日本医事新報社	各6,200円
神経科学- 脳の探究-	Mark F.Bear 他(著)、加藤他(訳)	西村書店	7,600円
脳単	原島 広至 (著)	NTS	2,730円

4. 成績評価の方法・基準

筆記試験の結果を重視するが、講義・実習への参加態度とレポートも総合評価する。

5. 教員名

解剖学第一：森 望、大山恭司、安田邦彦
 脳外科：永田泉 眼科：北岡隆 耳鼻咽喉科：隈上秀高 放射線科：上谷雅孝
 非常勤講師：木山博資 (名古屋大学医学部教授)、島田昌一 (大阪大学医学部教授)、渡辺恭良
 (理化学研究所分子イメージング科学研究センター長)

6. 備考（準備学習等）

神経・感覚器系授業予定(2年後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教官	教室
10	7	金	3	講義 1	概論 1 神経系序説 (神経解剖学の歴史、総論、脳の外観)	森	第 1
			4	講義 2	概論 2 神経系の基本要素	森	第 1
10	14	金	3	講義 3	概論 3 脳・脊髄の発生、発達と進化	森	第 1
			4	講義 4	脊髄	森	第 1
10	21	金	3	講義 5	脳幹と脳神経 1 (延髄、橋、中脳)	大山	第 1
			4	講義 6	脳幹と脳神経 2 (脳神経)	安田	第 1
10	28	金	3	講義 7	小脳	森	第 1
			4	講義 8	脳血管系と脳脊髄液系	脳外科・永田	第 1
11	4	金	3	講義 9	間脳 1 (視床、特に背側視床)	森	第 1
			4	講義 10	間脳 2 (視床上部、腹側視床、視床下部と下垂体)	大山	第 1
11	11	金	3	講義 11	終脳 1 (概論、嗅皮質、扁桃核、海馬)	森	第 1
			4	講義 12	終脳 2 (大脳新皮質、層構造、皮質領野、線維路)	森	第 1
11	18	金	3	講義 13	終脳 3 (大脳辺縁系と大脳基底核)	森	第 1
			4	講義 14	特別講義：脳解剖学からみる神経科学 1	非常勤・木山	第 1
11	25	金	3	実習 1	脳の外観、脳膜、脳底、血管系の観察	森・大山・安田	実(解)
			4	実習 2	大脳皮質外側面(回と溝)の観察	森・大山・安田	実(解)
12	2	金	3	実習 3	小脳・脳幹の離断、小脳の解剖	森・大山・安田	実(解)
			4	実習 4	脳幹の解剖、脳神経の観察	森・大山・安田	実(解)
12	9	金	3	実習 5	大脳半球正中断、内側面の観察、海馬、帯状束、脳弓の剖	森・大山・安田	実(解)
			4	実習 6	島、連合線維、レンズ核、放線冠の剖出	森・大山・安田	実(解)
12	16	金	3	実習 7	大脳半球前頭断面の観察	森・大山・安田	実(解)
			4	実習 8	大脳半球水平断面の観察	森・大山・安田	実(解)
1	6	金	3	講義 15	脳組織学	森	第 1
			4	講義 16	植物神経系 (自律神経系)	大山	第 1
1	13	金	3	講義 17	脳機能系 (運動系・感覚系)	森	第 1
			4	講義 18	感覚器 1：視覚系	眼科・北岡	第 1
1	20	金	3	講義 19	感覚器 2：聴覚系	耳鼻科・高橋	第 1
			4	講義 20	感覚器 3：嗅覚系・味覚系	森	第 1
1	27	金	3	講義 21	脳機能解剖学 (生体脳イメージング)	非常勤・渡辺	第 1
			4	講義 22	脳画像の基礎と臨床	放射線科・上谷	第 1
2	3	金	3	講義 23	分子神経解剖学 1 (神経回路・シナプスの分子解剖)	森	第 1
			4	講義 24	特別講義：脳解剖学からみる神経科学 2	非常勤・島田	第 1

発 生 ・ 組 織 系

責 任 者	氏 名	小路 武彦	内 線	7027
	教 室	解剖学第三 (組織発生解剖学)	e-mail	tkoji@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	(木) 16:30~18:00		

対象年次・学期	2年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	3
英語名	Development and Histology		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

医師となるに必要とされる正常人体組織学と発生学の基礎知識を修得する。それら知識と組織標本観察力は、病理組織学を始め後に続いて修得する基礎および臨床科目を十分に把握するのに必要である。よって、それら諸科目との関連性を強調しながら、近代発生学および組織学の知識のエッセンスを伝えたい。

本講義により顕微鏡像から組織・器官を特定出来、その形態的特徴を適切な用語を用いて説明出来ることを到達目標とする。

2. 授業内容 (講義・実習項目)

後期に細胞学、発生学および組織学総論・各論の講義を行う。講義に平行して組織学の実習を行い、実習内容を毎回チェックする。講義は第一講義室で行い、実習は第二実習室で行う。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
参考書			
標準組織学 総論 (4版)	藤田尚男、藤田恒夫	医学書院	8,925 円
標準組織学 各論 (4版)	藤田尚男、藤田恒夫	医学書院	12,600 円
The Developing Human: Clinically Oriented Embryology (8版)	K. L. Moore & T. V. N. Persuad	Saunders	9,840 円
標準細胞生物学 (2版)	石川春律、近藤尚武 柴田洋三郎 編	医学書院	5,670 円
ラングマン人体発生学 (9版)	T. W. Sadler	医歯薬出版	8,820 円
ムーア人体発生学 (7版)	K. L. Moore	医歯薬出版	10,400 円
永遠の不死：精子形成細胞の生物学	小路武彦 編	サイエンス社	2,310 円

4. 成績評価の方法・基準

成績の評価は、学期末に行うカラーズライドを用いたペーパーテストにより行う。また、予告無しの中間テストも行われる。なお、期末試験の受験には講義時間数の2/3以上の出席が必要であり、これに満たない場合は失格となる。

発生学分野30点、組織学講義分野30点、組織学実習分野40点の100点満点とし、合計点が60点以上で、3分野中2分野の得点が60%以上、1分野の得点が45%以上である場合を合格とする。再試験は年度末に1回だけ行う。

5. 教員名

解剖学第三 : 小路武彦、菱川善隆、遠藤大輔
 口腔解剖第二 : 和泉伸一
 第二内科 : 西野友哉
 非常勤講師 : 井上靖久、江島邦彰、鶴田大輔、吉永一也

6. 備考 (準備学習等)

一年次の「Human Biology」で学んだ内容を復習しておくこと。

発生組織系授業予定（2年後期）

	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
10	6	木	2	1. 生殖形成	A. 体細胞分裂と成熟分裂	解剖3・小路	第1
			3		B. 成熟過程における形態学的変化		
			4	2. 排卵から着床まで		非常勤・井上	
10	13	木	2	3. 2層性胚盤		非常勤・井上	第1
			3	4. 3層性胚盤			
			4	5. 胚子期	A. 三胚葉誘導体 B. 2ヵ月中の外形		
10	20	木	2	6. 胎児期	A. 胎児の発生	非常勤・井上	第1
			3	7. 体腔と漿膜	A. 体腔の形成	非常勤・江島	
			4	1. 細胞 2. 組織の概念		解剖3・小路	
10	27	木	2	3. 上皮組織 4. 支持組織(I)	A. 分類 B. 上皮細胞間の特殊分化 C. 腺 A. 結合組織 B. 軟骨	解剖3・小路	第1 実2
			3	0. 実習説明	諸注意、顕微鏡引渡し	解剖3・小路 菱川 遠藤	
			4	3. 上皮組織	実習	非常勤・鶴田	
11	10	木	2	特別講義		非常勤・吉永	第1
11	17	木	2	4. 支持組織(II) 5. 筋組織	C. 血液・リンパ A. 平滑筋 B. 骨格筋 C. 心筋	解剖3・小路	第1 実2
			3	4. 支持組織 5. 筋組織	実習	解剖3・小路 菱川 遠藤 非常勤・鶴田	
			4				
11	24	木	2	6. 脈管系	A. 心臓脈管系の発生 B. 毛細血管 C. 動脈 D. 静脈 E. 心臓	非常勤・江島	第1 実2
			3		実習	解剖3・小路 菱川 遠藤 非常勤・江島	
			4				
12	1	木	2	7. リンパ性器官	A. リンパ性器官の発生 B. リンパ節 C. 脾臓 D. 胸腺	解剖3・菱川	第1 実2
			3		実習	解剖3・小路 菱川 遠藤	
			4				
12	8	木	2	8. 消化器系(I)	A. 消化管の発生 B. 咽頭 C. 食道 D. 胃 E. 小腸 F. 大腸	解剖3・菱川	第1 実2
			3		実習	解剖3・小路 菱川 遠藤	
			4				

発生組織系授業予定（2年後期）

	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
12	15	木	2	8. 消化器系(II)	G. 肝臓、胆嚢の発生 H. 肝臓と胆嚢 I. 膵臓の発生 J. 膵臓	解剖3・菱川	第1
			3		K. 口腔 L. 歯 M. 唾液腺	口腔解剖2・和泉	実2
			4		実習	解剖3・小路 菱川 遠藤 口腔解剖2・和泉	
12	22	木	2	9. 呼吸器系	A. 呼吸器系の発生 B. 鼻腔 C. 喉頭 D. 気管 E. 肺	解剖3・菱川	第1
			3		実習	解剖3・小路 菱川 遠藤	実2
			4				
1	5	木	2	10. 泌尿器系	A. 泌尿器系の発生 B. 腎臓 C. 尿管 D. 膀胱 E. 尿道	内科2・西野	第1
			3		実習	解剖3・小路 菱川 遠藤	実2
			4				
1	12	木	2	11. 男性生殖器系	A. 男性生殖器系の発生 B. 精巣 C. 精路とその付属腺	解剖3・小路	第1
			3		実習	解剖3・小路 菱川 遠藤	実2
			4				
1	19	木	2	12. 女性生殖器系	A. 女性生殖器系の発生 B. 卵巣 C. 卵管 D. 子宮 E. 膣 F. 外陰部 G. 胎盤 H. 乳腺	非常勤・江島	第1
			3		実習	解剖3・小路 菱川 遠藤	実2
			4			非常勤・江島	
1	26	木	2	13. 内分泌系(I)	A. 下垂体 B. 上皮小体 C. 甲状腺	解剖3・小路	第1
			3	特殊染色実習	チューター制による組織標本 染色実習	解剖3・小路 菱川 遠藤	実2
			4			口腔解剖2・和泉 非常勤・鶴田	
2	2	木	2	13. 内分泌系(II)	D. 松果体 E. 副腎 F. 消化管の内分泌 G. パラガングリオン	解剖3・小路	第1
			3		実習	解剖3・小路 菱川 遠藤	実2
			4				

動物性機能系

責任者	氏名	篠原 一之	内線	7033
	教室	生理学第二 (神経機能学)	e-mail	kazuyuki@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16時30～17時30分		

対象年次・学期	2年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名	Neurobiology and Behavior		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

動物性機能生理学では脳および神経の機能について学習する。最近急速に発展した脳・神経機能を学ぶためには、神経細胞レベルからヒトの認知・行動レベルまで、トータルに学ばねばならない。そこで、授業では、脳・神経科学を、1) 体の内外からの情報を受けて解釈する感覚系、2) 情報に基づいて判断を行う統合系、3) 行動を組織して実行する運動系、に分けて、それぞれ分子レベルから現象レベルまで統合的に理解し、脳・神経系学問領域における思考力を養う。

最近、脳・神経科学領域の進歩は目まぐるしい。膨大な情報の中から、将来医師となった時に知っておくべき、基礎的知識から最先端医療に応用可能な知識を授業で学ぶ。具体的には、神経細胞の情報伝達機構、神経再生、脳の統合機能（記憶、情動、本能）、感覚受容・知覚等のテーマについて、統合的システムとして理解できるようになり、脳・神経科学関連疾患の病態、病因、治療についての考察ができることも目標とする。

講義で使用したスライドはWebサイト (<http://www.med.nagasaki-u.ac.jp/physlgy2/>) にアップロードする (学内のみ閲覧可能)。また、授業内容の予定やまとめも上記サイトに載せるので、予習、復習に活用すること。

2. 授業内容 (講義・実習項目)

講義：神経科学に含まれる事象について、細胞レベル、運動系の末梢から中枢まで、感覚系、統合的脳機能へと、そのメカニズムと全体における位置付けを重要視しながら、発展的に進めていく。項目によっては各専門家を呼び、高度な最新の内容をわかりやすく講義してもらう。

実習：人体を用いた神経、筋の興奮現象の測定を体験し、観察される現象の機構を説明できるようにする。感覚系および中枢を介した反応についていくつかの課題を実行し、背景となる神経機構についての基本的性質を考察し理解する。

3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版社	定価
NEUROSCIENCE: Exploring the Brain	Bear, M. F., Connors, B. W. and Paradiso, M. A.	Lippincott W & W	5,000 円
人体生理学	篠原一之 他共著	朝倉書店	3,800 円
症例問題から学ぶ生理学	Linda S Costanzo (鮎淵典之監訳)	丸善 (株)	4,800 円
生理学テキスト	大地陸男 著	文光堂	4,800 円
標準生理学	本郷 利憲 他共著	医学書院	12,600 円
ニューロンの生物学	Fred Delcomyn (小倉明彦・富永恵子訳)	南江堂	8,800 円

4. 成績評価の方法・基準

原則として筆答試験による。(実習も考慮する。)

5. 教員名

生理学第二：篠原一之、西谷正太、藤澤隆史、木田哲夫、土居裕和

耳鼻咽喉科：高橋晴雄、隈上秀高

眼科：北岡 隆

麻酔科：北條美能留

歯学部・口腔生理：岡田幸雄

非常勤講師：内匠 透 (広島大学)

友田明美 (熊本大学)

6. 備考 (準備学習等)

動物性機能系授業予定（2年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
10	5	水	2	入門	神経科学の基礎と歴史	生理2 篠原	第1
10	7	金	2	入門	神経系を構成する諸要素（形態・機能・分子）	生理2 西谷	第1
10	12	水	2	興奮	静止状態のニューロンと膜電位	生理2 土居	第1
10	14	金	2	興奮	ニューロンの興奮とその伝導	生理2 土居	第1
10	19	水	2	シナプス	神経筋接合	生理2 木田	第1
10	21	金	2	シナプス	シナプス伝達	生理2 西谷	第1
10	26	水	2	シナプス	神経伝達物質の放出と受容体	生理2 藤澤	第1
10	28	金	2	神経細胞死	神経細胞の死	生理2 西谷	第1
11	2	水	2	神経細胞死	神経細胞の再生	生理2 篠原	第1
11	4	金	2	運動系	骨格筋の構造・機能	生理2 木田	第1
11	9	水	2	運動系	運動系システムの階層性	生理2 西谷	第1
11	16	水	2	運動系	脊髄反射	生理2 土居	第1
11	18	金	2	運動系	大脳基底核	生理2 西谷	第1
11	25	金	2	感覚系	痛覚	麻酔科 北條	第1
11	30	水	2	統合脳	発達に伴う脳の可塑性	熊本大学 友田	第1
12	2	金	2	運動系	小脳	生理2 土居	第1
12	7	水	2	感覚系	聴覚	耳鼻科 高橋	第1
12	9	金	2	統合脳	意識と注意	生理2 土居	第1
12	14	水	2	感覚系	味覚	口腔生理 岡田	第1
12	16	金	2	感覚系	視覚	眼科 北岡	第1
12	21	水	2	感覚系	平衡感覚	耳鼻科 限上	第1

動物性機能系授業予定（2年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
1	4	水	2	統合脳	高次感覚機能	生理2 木田	第1
1	6	金	2	感覚系	嗅覚	生理2 篠原	第1
1	11	水	2	感覚系	体性感覚	生理2 木田	第1
			3	生理学実習	1. 誘発筋電図	生理2 篠原・西谷・藤澤・木田・土居	実習室
			4		2. 感覚の基本的性質		
1	13	金	2	運動・感覚	運動と感覚の連関	生理2 土居	第1
1	18	水	2	統合脳	本能行動（視床下部）	生理2 西谷	第1
			3	生理学実習	1. 誘発筋電図	生理2 篠原・西谷・藤澤・木田・土居	実習室
			4		2. 感覚の基本的性質		
1	20	金	2	統合脳	脳機能の分子的基盤	広島大学 内匠	第1
1	25	水	2	統合脳	情動（大脳辺縁系）	生理2 篠原	第1
			3	生理学実習	1. 誘発筋電図	生理2 篠原・西谷・藤澤・木田・土居	実習室
			4		2. 感覚の基本的性質		
1	27	金	2	統合脳	睡眠と脳波	生理2 篠原	第1
2	1	水	2	統合脳	大脳連合野と言語野	生理2 木田	第1
			3	生理学実習	1. 誘発筋電図	生理2 篠原・西谷・藤澤・木田・土居	実習室
			4		2. 感覚の基本的性質		
2	3	金	2	統合脳	学習と記憶（脳内メカニズム）	生理2 篠原	第1
2	8	水	2	統合脳	学習と記憶（シナプスの可塑性）	生理2 篠原	第1
			3	生理学実習	1. 誘発筋電図	生理2 篠原・西谷・藤澤・木田・土居	実習室
			4		2. 感覚の基本的性質		

医学ゼミ

責任者	氏名	伊藤 敬	内線	7037
	教室	生化学	e-mail	tito@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	金曜日午後1時～午後5時		

対象年次・学期	1年：前期、後期 2年：前期、後期 3年：前期 4年：前期、後期	講義形態	担当教員が講義形態を決定する。
必修・選択	必修	単位数	前期、後期各1
英語名	Small group medical seminar		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

必修選択の科目であり、各科目10名前後の少人数教育を行う。自らが特に学習したい分野を選択し、その分野についてコアとなる教科内容を越えて特定の内容を深く掘り下げる学習を行う。当該分野の医学・科学に対する探求心・問題解決能力の育成と、より深い理解を目指す。少人数で担当教員との双方向性の授業を行うことにより教官と親しく交流すると共に、1年次から4年次まで学年間の壁を越えて共に学ぶ環境を提供する。AO学生は、医学ゼミを通して当該領域の知識を深める。

2. 授業科目の選択方法

- A. 各開講科目について、教育目標、授業内容、担当教官、開講場所、開講時間帯等を公示する。
- B. 各学年開始前に、前期・後期別に受講希望科目を学務係に提出する（第3希望まで）。
- C. 第1希望を優先し、各科目へ学生の割り振りを行う。

3. 教科書、参考書等

担当教員が提示する。

4. 成績評価の方法・基準

1、2年次前期・後期、3年次前期、4年次前期・後期に開講する。3年次への進級には2年次で1単位以上、4年次への進級には3年次までに2単位以上、5年次への進級には4年次までに3単位以上修得する必要がある。卒業のための最低修得単位数は3単位である。

5. 指導教員など

医学科、熱帯医学研究所、先導生命支援センター教員

6. 備考（準備学習等）

担当教員が提示する。

(2年次)

講座名	対象学年・開講時期	ゼミテーマ	責任者	目的・方針	内容	開講時間帯	授業を行う場所	評価方法	受講可能人数
1 免疫機能制御学	2・3・4年前期	論文から学ぶ免疫学	田村隆彦	重要な原著論文に触れることにより、免疫学の方法論とその根拠にあるアイデアに対する理解を深め、問題解決能力を滋養する。3、4年生を主な対象とするが、意欲ある2年生も歓迎する。	免疫学関連の主要な論文(英文)の抄読会を行う。学生があらかじめ自学した論文の内容を紹介し、それについて全員で議論し、理解を深める。論文の選択、読み方などは適宜指導する。	金曜日1校時	医動物学教室 集会所	発表内容、レポート、討論への参加度、出席	10名
2 解剖学第三	1・2・3年前期	細胞死研究の最前線	小路武彦	細胞死(アポトーシス)研究について基礎から最新トピックスまでを俯瞰し、細胞死(アポトーシス)の人為制御、病態解析さらには様々な病気に対する治療戦略について議論し知識を深めることを目的とする。	細胞死(アポトーシス)の研究状況及び基礎知識を学んだ後に、最先端研究の論文を読んで内容をプレゼンテーションしていただく。最新の研究にふれて科学的アプローチの一端を学ぶと共に、英文読解能力・プレゼンテーション能力を養う。必要に応じて教員により適宜内容補足をしながら討論を進める。	金曜日1校時	医学科基礎研究棟2F 小会議室	講演内容と議論への参加態度並びに出席にて判定	10名
3 公衆衛生	2・3・4年前期	論文から学ぶ公衆衛生学	青柳 潔	文献を通して医学の社会性について学ぶ	公衆衛生学に関連した論文を各自が紹介・発表し、討論する。	金曜日1校時	公衆衛生学資料室	積極性、レポート	10名
4 生理学第一	2年前期	小説「赤ひげ」を讀む - 文学作品に描かれた医師像と医学を考える -	松本遼郎	医師には高い医学的知識と技術のほか、深い人間愛と多様な生き方を許容し理解する力がある。先人の『ひと』に対する洞察には学ぶところが多い。山本周五郎作小説「赤ひげ」を讀みながら『ひと』に対する理解と目指すべき医師像は如何にあるのか大テーマに挑むとともに書に親しみ、感性を磨きつつ、読むことの楽しさを共に体験したい。	あらかじめ用意した設問を念頭に全員が作品を通読する。「赤ひげ」の8話のそれぞれについてチューターによる粗筋の紹介をし、設問に対する意見や各人の最も強く感じたことを発表(毎回レポートとして提出し全員討論を行う。最終回は黒澤明監督の映画「赤ひげ」を鑑賞して映像文化と文芸作品との違いを考察する。	金曜日1校時	セミナーができる小講義室	毎回提示する設問のレポート	10名
5 第二生理学	2年・3年前期	心の個人差の脳科学	篠原一之	英語論文、原書精読を通して、心の個人差を生み出す科学的基盤の重要性について理解を深めるとともに、英文読解・プレゼンテーション能力を養う。	近年、性格をはじめとした心の個人差と、脳機能・形態・遺伝子多型、内分分泌機能との関わりが明らかになりつつある。そこで、これらの個人差の生物学的基盤に関する最新の研究論文を讀み、その内容に関するプレゼンと議論を行う。また、心の科学で用いられる脳機能計測・行動計測技術に関する実習を行う。これらの活動を通して、心の科学に関する理解を深めるとともに、臨床・研究活動に必須の英文読解・プレゼン能力を身につける。	金曜日1校時	医学科基礎研究等1Fセミナー室	出席、レポート、発表資料を総合的に評価する。	10名 ~15名
6 精神神経科	2・3・4年前後期	「映画から見る精神医学」	小澤真樹	具体的にイメージしにくい精神医学の様々な現象、症状、問題に関して映画・テレビなどの映像表現を通じて、人の心に対する理解を深め、自己の考え・感情を論理的・能動的に議論することを目的とする。	精神医学の様々な現象、症状、問題に関して映画・テレビなどの映像表現を通じて、人の心に対する理解を深め、自己の考え・感情を論理的・能動的に議論する。	映画を観賞する都合上、4・5時間開講(水曜日17:00以降)を利用しゼミを行います。(日程は講義科目目録に添付した学生と協議のうえ決定)8校時目以降に他の科目を受講する方はご留意ください。	長崎大学病院 精神神経科カフナルーム(予定)	レポート50%、及びディスカッションへの参加状況50%	10名
7 感染分子解析学	2・3・4年前期	感染症のPBL	西田敦行	英文で書かれた症例報告の読解力を高め、かつProblem based learning の方法を学ぶ。	主にNEJM Case reportから感染症の症例を取り上げて、英文読解を行うとともに、各自自己学習目標を設定し、調べたことを発表しながら、グループ学習を行う。5症例程度を目標とする。	金曜日1校時	感染分子解析学教室 集会所	参加態度と期末レポートにて評価する	6名
8 小児科	2年前期	「文学作品から読む小児疾患」	岡田雅彦	小児疾患が登場する文学作品を讀み、それぞれの時代に描かれた小児疾患について考察することで小児疾患の特徴、医療の進歩、社会環境の変化について理解を深める。	司馬遼太郎、大江健三郎、松本清張、宮部みゆき、アガサ・クリスティなどの作家の作品から小児疾患が登場するものを讀み、作家が描く小児疾患像を通じて作家の思いやその時代における小児疾患とまじり社会環境について考察する。併せて現在の医療環境と比較して、医療の進歩・社会環境の変化について考える。	金曜日1校時	6階西病棟カンファランス室	出席率、レポート	10名
9 泌尿器科	2・3・4年前期	マンガから学ぶ「泌尿器科ってなんだ？」	井川 肇	本ゼミを泌尿器科学入門と位置づけ、身近な問題から泌尿器科学の領域と特徴、ひいては現代医学の基本部分の理解につなげていく。	泌尿器器の解剖、機能および疾患の特徴を直観的に捉えらるよう、主にマンガやビデオ等のメディアを用いた講義を行う。また、関連する内容に関して、簡単なプレゼンテーションスキルなどの実践にも触れてもらう。	金曜日1校時	第一臨床研究棟7階泌尿器科医局	討論への参加度と小テスト	10名
10 産婦人科	2年・3年・4年前後期	女性医療の最前線	増崎英明	産婦人科は主に周産期、婦人科腫瘍、生殖内分泌および女性のヘルスケアの領域からなります。つまり、女性の一生をみる学問です。そこで、産婦人科が開講する医学ゼミでは、妊娠・出産、産後ケア、あるいは月経異常など様々な領域に関する話題を取り上げ、活発な討論を通じて産婦人科の最前線について見識を深めてもらいます。	産婦人科領域のトピックスを取り上げたプログラムを企画しています。参加者は学生のほか、産婦人科医師、小児科医師、研修医、助産師が参加しています。周辺地域の関連病院の勤務医および関係医も参加し、まず、各週の担当講師が質疑応答を受けながらトピックスについて解説していきます。ついで、周辺地域の関係医から大学病院あるいは長崎市民病院に搬送された症例を取り上げて、管理・治療における問題点や産科救急について討論します。また、月1~2回、産婦人科に関連した最新情報について、その分野の第一人者を外部講師としてお招きしてセミナーを開催します。したがって、討論には積極的に参加してください。	火曜日 18:30-21:00 (軽食有り)	産婦人科医局(第一臨床研究棟)産婦人科セミナーは良朋会館もしくはポンス会館で行う場合もあります。	出席、討論への参加態度、レポート	10名
11 原研細胞・原研疫学	1年、2年次AO前期	国際保健入門	山下俊一 高村 昇	AO国際枠で入学した学生を中心に、世界を目指す医師・医学者を養成する目的で、原研における活動、特に国際保健分野における活動を紹介します。あわせて国際保健に関する、勿論、一般入試での学生も歓迎する。	原研各分野の教員が、それぞれの分野の背景・活動内容を平易に説明・紹介し、あわせて関連の英文資料を精読することで国際保健、国際医療の実践についてより深い理解を得る。	月曜日5校時	原研棟3階コミュニケーションセンター	出席状況、発表内容を考慮して評価する。	10名
12 生化学	2年・3年・4年前後期	「論文から学ぶ生化学」	伊藤 敬	学習意欲のある2年生を対象にした生化学への入門科目である。生化学に関連する論文を讀み、英語力を養うとともに生化学的な研究を理解し発表する力を養う。	教員が毎回最近の生化学に関する論文を紹介しその内容を理解し質疑応答をする。加えて当番になった学生は、あらかじめ自学した論文を紹介しその内容について全員で議論し、理解を深める。	日曜日午前10時	医学科基礎棟6階生化学教室 集会所	出席、発表内容など	10名
13 生化学	1~6年前期	国際医療英語(定員20名、AO入試国際枠学生を優先する。)	伊藤 敬 小笠原麻由	国際的な場における医療現場で活躍できる英語力を養う。医療現場に必要な語句の理解を深めるとともに医療に関わるトピックスを精選し、その理解を深める。題材に関しては、医療関連の雑誌や新聞記事から精選し、速読と精読のバランスを意図した授業を行う。また、日本語と英語の表現方法の違いを学習する。特に学生が犯しやすい誤りとして、文法的な誤りの他、コロケーション(連語)の間違いや日常発想の違いによる誤り等も視野に入れて講義を行う。この授業を通して、英語の論の展開の仕方、さらには、英語を母語とする読者の直感に触れることで、英語の知識を深めていただきたい。	授業では、さらに演習の要素も取り入れ、日本語を英語らしい表現で書けるように訓練するとともに、リスニング、及び、スピーキングスキルの訓練も併せて行う。また、この目的にそった英語課題を出す。実際自分で英文を書くことによって、学生は英語の表現能力を高めてほしい。	火曜日5校時	第1講義室	テストとレポート、授業中のアクティビティ、出席、プレゼンテーション等を総合的に評価する。	10名
14 薬理学	2年後期	「脳を守る」	丹羽正美	脳を保護することの意義を理解し、その手段を考える。	脳・神経細胞の維持育成機構を理解し、破壊する原因を探索することで、認知症治療薬の重要性を学ぶ。	月曜日5校時	薬理学第一教室 セミナー室	毎回行う小テスト	10名
15 免疫機能制御学	2・4年後期	論文から学ぶ免疫学	由井克之	重要な原著論文に触れることにより、免疫学の方法論とその根拠にあるアイデアに対する理解を深め、問題解決能力を滋養する。「免疫学」の授業を履修した4年生を主な対象とするが、意欲ある2年生も歓迎する。	免疫学関連の主要な論文(英文)の抄読会を行う。学生があらかじめ自学した論文の内容を紹介し、それについて全員で議論し、理解を深める。論文の選択、読み方などは適宜指導する。	金曜日1校時	医動物学教室 集会所	発表内容、レポート、討論への参加度、出席	10名
16 原研疫学	2・4年後期	社会医学研究入門	高村 昇	社会医学研究が臨床医学におけるエビデンスの確立に極めて重要である、ということ、実際の論文、あるいはデータを実際に解析しながら学ぶ。その過程で、実際の統計学的手法を学ぶ。この授業を通して、英語の論文の展開の仕方、さらには、英語を母語とする読者の直感に触れることで、英語の知識を深めていただきたい。	臨床疫学研究の論文を精読することから疫学的な解析手法を理解したのちに、実際のデータを用いて種々の統計学的手法の解析を行い、最終的にはまとめたデータをどのように発表、執筆すべきかを学ぶ。	月曜日5校時	原研疫学教室(希望者が多い場合には、別途設定)	出席状況、ゼミにおける発表内容等を考慮して評価する。	10名
17 総合診療科	2年後期	事例より学ぶ家庭医療学	大園 恵幸	地域医療の中心となる家庭医療についてプライマリケア、心のケア、在宅医療、欧米における家庭医療などの事例を検討することにより家庭医療学の理解を深める。	日本と欧米の家庭医療の違い、プライマリケア、在宅医療、家族志向のアプローチ、臨床倫理などの事例を提示し検討する。	金曜日5校時	総合診療科医局	出席、発表、討論内容を総合的に評価する。	10名
18 腫瘍外科	2後期・3・4年前後期	サッカー-医学概論	安武 亨	スポーツを通して医学を学ぶ。	運動と関連した解剖学・生化学・生理学・栄養学・スポーツ傷害・運動生理学などを楽しく学ぶ。	前期水曜日5校時、後期火曜日5校時	医学部講義棟ゼミ室	出席、レポートなど	11名

19	生化学	1~6年後期	国際医療英語 (定員20名、AO 入試国際特学 生を優先す る。)	伊藤 敬 西原俊明	国際的な場における医療現場で活躍できる英語力を養う。医療現場に必要な語句の理解を深めるとともに医療に関わるトピックを精選し、その理解を深める。題材に関しては、医療関連の雑誌や新聞記事から精選し、速読を意図した授業を行う。また、日本語と英語の表現方法の違いを学習する。特に学生が犯しやすい誤りとして、文法的な誤りの他、コロケーション(連語)の間違いや日英発想の違いによる誤り等も視野に入れて講義を行う。 この授業を通して、英語の論の展開の仕方、さらには、英語を母語とする話者の直感に触れることで、英語の知識を深めていただきたい。	授業では、演習的要素も取り入れ、リスニング、及びスピーキングスキルの訓練を行う。また、医学に関わる英文記事を読み、短時間にまとめて英語で発表する訓練を併せて行う。	火曜日5校時	第1講義室	テストと課題、授業中のアクティビティ、出席、プレゼンテーション等を総合的に評価する。 テスト(70%)、課題・プレゼンテーション(20%)、授業への積極的参加(10%)	
20	先端 医育 支援 センター	以下参照	臨床カンファ ランス	桑原 京永 塚 和夫 山之内 孝彰 安部 亨	臨床カンファランスへの出席という形で臨床に触れ、学年に応じた自分の学習に生かす	診療科で実施されているカンファランスに出席する。そこで得たものを元に、自己学習を加えて、レポートを作成する。5回のカンファランスに出席し、5つのレポートを作成する。	別に示す診療科のカンファランスより1つを選択する。基本的には同一科のカンファランスに5回出席するものとする。	別に示す	出席態度およびレポート(参加したカンファランスの科にかかわらず、レポートは医育支援センターに提出する。)	
(先端 医育 支援 センター の内訳)	第1内 科	2、4年後期	脳卒中カンファ ランス			入院中の患者さんの症例提示	毎週月曜日17時 30分から	9階カンファ ランス室		3名
	第1内 科	2、4年後期	リウマチ膠原病 カンファランス			入院中の患者さんの症例提示	毎週水曜日17時 から	12階東カン ファランス室		3名
	第1内 科	2、4年後期	臨床抄読会			神経内科、リウマチ膠原病内科、内分泌代謝内科に関連した臨床論文2編を紹介。現在入院中の症例に関する最新知見を共有する。	毎週金曜日7時 45分から	12階カンファ ランス室		3名
	第2外 科	2年後期	M & Mカンファ ランス			各診療科が問題症例などを提示し、反省点などを検討し、今後の診療に生かす	毎週土曜日8時 30分から	第2外科医局 (第一臨床研 究棟)		2名
	第1外 科	2、4年後期	術前・術後カン ファランス			手術予定及び術後の患者さんの症例提示と討論	毎週木曜日17時 から	第1外科医局 (第一臨床研 究棟)		3名
21	離島 へき 地医 療学	2年後期、3 年前期、AO 地域科が主、 地域科以外 の学生も可	しまで学ぶ地域 医療	前田 隆浩	離島における地域医療の現場を見て、地域における保健・医療・福祉の役割と機能、そして地域包括医療についての基礎を理解する。	長崎県離島をはじめとした地域医療の現場に滞在し(原則2泊3日)、地域医療関連施設において見学あるいは体験学習を行った上で、地域医療と地域包括ケアについての討論を行う。	受講生と相談し、長期休暇を利用して開講日を決定する。	長崎県離島をはじめとした地域医療の現場	出席、発表、レポート	10名

国際医療英語

責任者	氏名	伊藤 敬	内線	7037
	教室	生化学	e-mail	tito@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	金曜日午後1時～午後5時		

対象年次・学期	1～6年 前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	選択	単位数	前期1単位、後期1単位
英語名	English for Medicine		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

国際的な場における医療現場で活躍できる英語力を養う。医療現場に必要な語句の理解を深めるとともに医療に関わるトピックを精選し、その理解を深める。題材に関しては、医療関連の雑誌や新聞記事から精選し、速読と精読のバランスを意識した授業を行う。

今年は、特に英語力の養成に焦点をあて、TOEIC600前後の力を最低つけることを目標とし、そのレベルのテキストを利用して授業を行なう。また、医学に関する基本的な英語表現や語彙を身につけてもらう。

2. 授業内容（講義・実習項目）

授業では、演習的要素を取り入れ、日本語を英語らしい表現で書けたり言えたりできるように訓練する。また、リスニングの訓練も併せて行う。リーディングに関しては、TOEIC形式の問題にたくさん挑戦してもらう。

3. 教科書、参考書等

前期の小笠原の授業で使用するテキストは、以下の2冊です。

1. *Step-by-Step Prep for the TOEIC TEST Advanced Course* (アルク 2,000円)
2. *メディカル英語小事典 (第2版)* (英光社 1100円)

テキストは、1回目の授業の時に、講師が持参するので、その場で購入してもらいます。1回目から、早速上の2冊のテキストを利用して、授業を始めます。

4. 成績評価の方法・基準

テストとレポート、授業中のアクティビティ、出席、プレゼンテーション等を総合的に評価する。
(なお、定期試験の評価の割合は70%です)

5. 教員名

非常勤 : 小笠原 真司 (大学教育機能開発センター)

6. 備考 (準備学習等)

定員20名、AO入試国際枠学生を優先する。

TOEIC 600を目指す学生が受講してください。

出席が悪い学生は、お断りです。遅刻もお断りです。

授業計画は「1年次」参照。

国際医療英語

責任者	氏名	伊藤 敬	内線	7037
	教室	生化学	e-mail	tito@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	金曜日午後1時～午後5時		

対象年次・学期	1～6年 後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	選択	単位数	前期1単位、後期1単位
英語名	English for Medicine		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

国際的な場における医療現場で活躍できる英語力を養う。医療現場に必要な語句の理解を深めるとともに医療に関わるトピックを精選し、その理解を深める。題材に関しては、医療関連の雑誌や新聞記事から精選し、速読を意識した授業を行う。また、日本語と英語の表現方法の違いを学習する。特に学生が犯しやすい誤りとして、文法的な誤りの他、コロケーション(連語)の間違いや日英発想の違いによる誤り等も視野に入れて講義を行う。

この授業を通して、英語の論の展開の仕方、さらには、英語を母語とする話者の直感に触れることで、英語の知識を深めていただきたい。

2. 授業内容(講義・実習項目)

授業では、演習的要素も取り入れ、リスニング、及び、スピーキングスキルの訓練を行う。また、医学に関わる英文記事を読み、短時間にまとめて英語で発表する訓練を併せて行う。

3. 教科書、参考書等

いろいろなジャーナルの論文を選ぶ予定である。その他、適宜、指示する。
プリント教材とテキストを利用する。

4. 成績評価の方法・基準

テストと課題、授業中のアクティビティ、出席、プレゼンテーション等を総合的に評価する。
テスト(70%)、課題・プレゼンテーション(20%)、授業への積極的参加(10%)

5. 教員名

非常勤 : 西原 俊明 (大学教育機能開発センター)

6. 備考(準備学習等)

定員20名、AO入試国際枠学生を優先する。

積極的に、そして真面目に授業に出ること。演習形式なので、出席を重視する。

授業計画は「1年次」参照。